

由仁町における特定健診受診率向上対策 及び重症化予防について

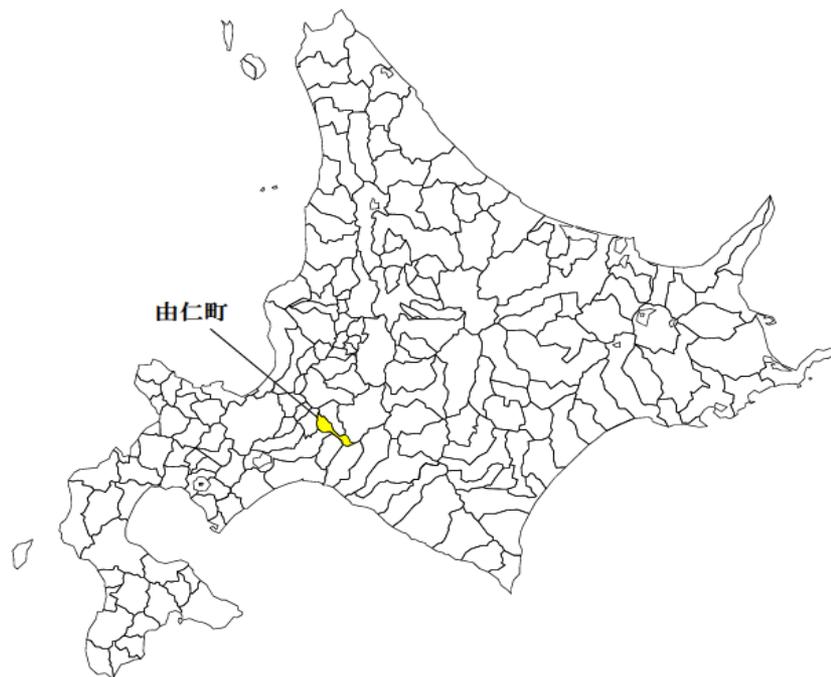
～平成29年度紹介事例～

北海道厚生局健康福祉部保険年金課

由仁町の概要

人	口	5,506	人
国保世帯数		1,041	世帯
国保被保険者数		2,053	人
加入割合		37.3	%

(平成28年3月31日現在)

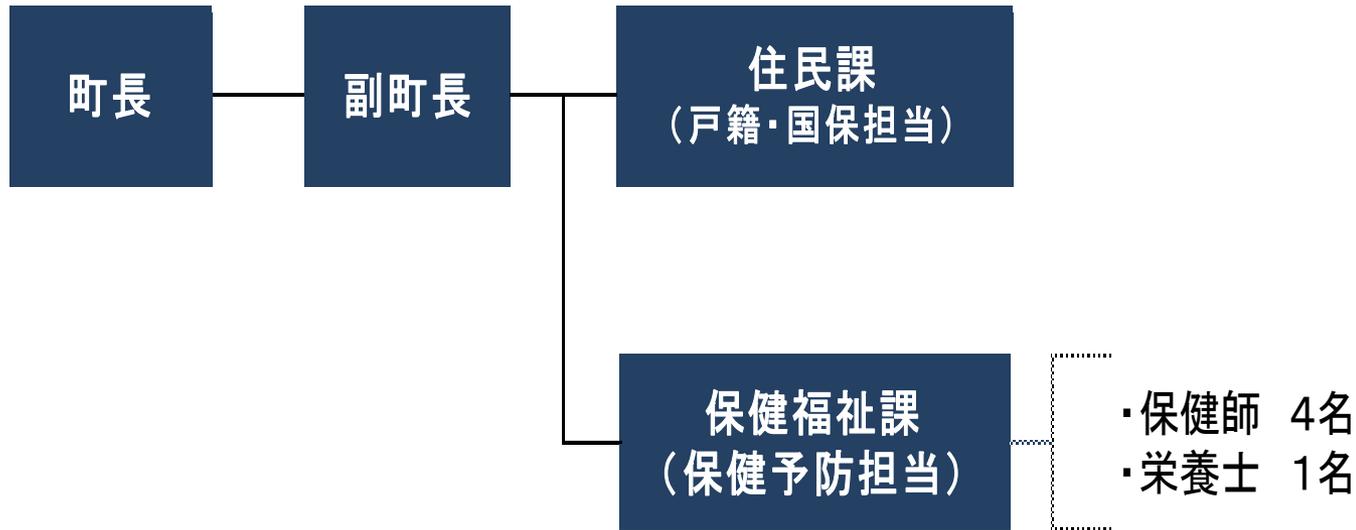


由仁町は、空知管内の最南端に位置し、東西に8km、南北に32kmのひょうたん型をした町です。南北に夕張川が流れ、西部・南部には馬追丘陵が広がっており、広い田畑が織りなす北海道らしいのどかな田園風景が魅力のまちです。

基幹産業は、肥沃な土地を活かした農業で、米、野菜、果物のほか、ハーブや花など幅広い農作物が作られています。

国内最大級の英国式庭園である「ゆにガーデン」では、四季によって表情を変える15ものガーデンエリア、広場、花々が広がっています。

保健事業の実施体制



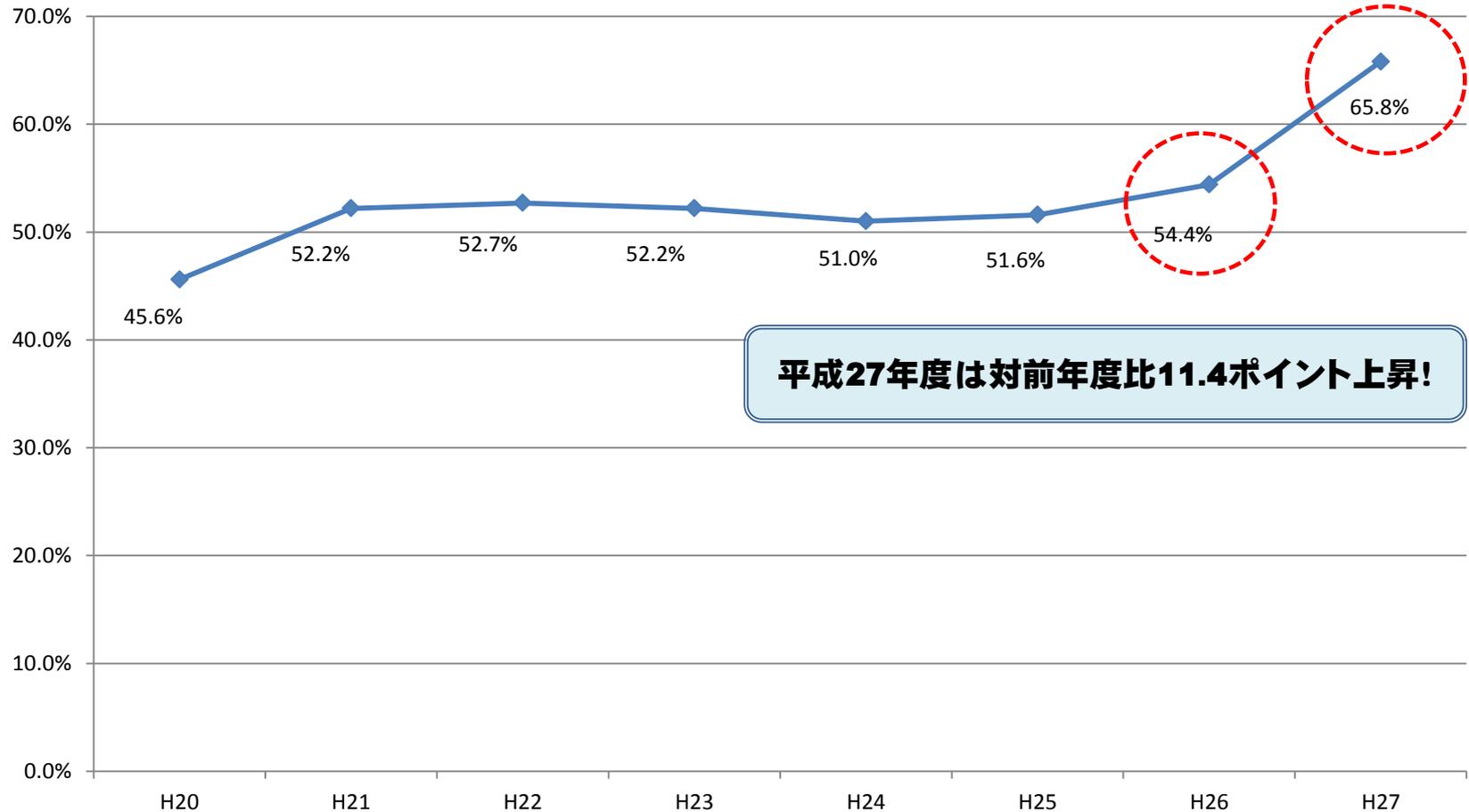
○保健福祉課(保健予防担当)

- ・各種健診等、保健事業の主管課。
- ・4名の保健師が地区毎に担当を分けて活動している。
- ・栄養士は、同課の「福祉・児童担当」と兼任。

○住民課(戸籍・国保担当)

- ・国民健康保険の主管課。
- ・特定健診対象者の抽出や、受診券の発行に関する業務のほか、特定健診の受診勧奨についても保健福祉課と共同で行っている。

特定健診受診率の推移



主な特定健診受診率向上対策

文書及び電話・訪問による受診勧奨

- ・受診勧奨はがきの送付(年2回)のほか、担当地区の保健師、住民課職員による電話・訪問勧奨を実施している。
- ・また、町内30自治区毎に町職員がそれぞれ「まちづくり地域担当職員」として配置されており、当該職員を活用した勧奨(未受診者の顔見知りの職員による勧奨等)を行うなど、町職員一体となった取り組みが行われている。

インセンティブの提供

- ・特定健診を含む各種健診の受診者を対象に、町内の施設やお店で使用できる「割引チケット」を交付する事業を実施している。

医療機関からのデータ受領

効果大

→ 詳細は次頁へ

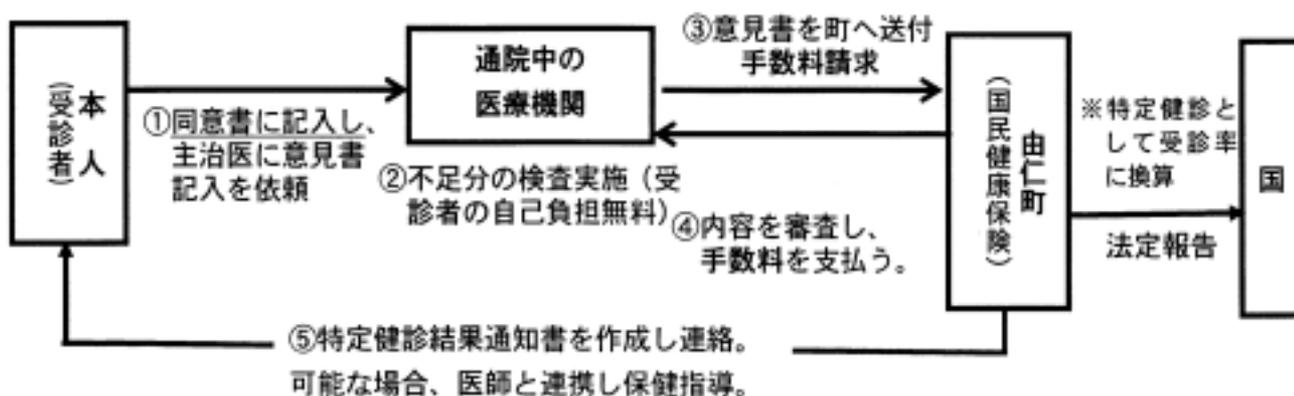
その他

- ・特定健診と同時に、20歳から39歳までの町民を対象とした「基本健診」を実施しており、同健診の対象である若年層に対しても積極的な受診勧奨が行われている(農協青年部の協力を得た受診勧奨等)。
- ・また、中学2年生を対象とした「由仁っ子健診」を無料で実施するなど、若い年代から健診を受診するための習慣づけが図られている。

特定健診データ受領事業について

- ・ 通院中の被保険者においては、医療機関で定期的に血液検査を行っている者も多いため、当該検査データを医療機関から受領し、特定健診データとして活用する事業を平成27年度から実施。
- ・ 平成29年4月現在、町内外の30医療機関の協力が得られている。

【当該事業の流れ】



事業を開始した平成27年度から大きな成果あり、

- ・ 平成27年度受診率が対前年度比11.4ポイント上昇し、65.8%に。
- ・ 受診率のうち、データ受領によるものが14%を占めている。

糖尿病性腎症重症化予防事業について

平成27年度から特定健診の項目に尿中アルブミン検査を追加実施し、空腹時血糖 126mg/dl (随時血糖 200mg/dl) 以上またはHbA1c 6.5以上で、腎機能 eGFR 60以下または尿蛋白±(微量アルブミン尿30) 以上に該当する者のほか、町独自の基準^(注1)に該当する者にターゲットを絞り、受診勧奨や医療機関と連携した保健指導を実施している。

- (注1) ・過去の健診等で糖尿病が強く疑われる者のうち、医療機関を未受診または治療を中断している者
・ハイリスク者(糖尿病性腎症2~4期と思われる者、糖尿病性腎症を発症していないが、高血圧Ⅱ度以上等)
・その他必要と認める者

【実施方法】

- 1 特定健診結果及びレセプトを確認し、対象者を抽出。
- 2 未治療の者は医療機関へ受診勧奨。治療中の者は、糖尿病手帳を介し、6か月継続支援を実施。
→ 担当保健師が継続的に対象者を訪問、面談している
- 3 6か月後の評価として、血糖・HbA1c・クレアチニン・尿蛋白(検査を実施しているときは尿中アルブミン)等を確認

なお、過去5年間の健診結果で、一度でも HbA1c 6.5以上に該当した者については、「糖尿病管理台帳」を作成し、検査数値、受診医療機関、服薬状況等の管理を実施している。